

ネツレングループの事業概要

2025年2月27日

代表取締役社長執行役員 大宮 克己



目次

- 01** グループ事業概要
- 02** 業績・株主還元
- 03** 将来に向けた成長戦略
- 04** サステナビリティ
- 05** 参考情報



©2008 NETUREN designed by MONDO DESIGN

目次

01 グループ事業概要

02 業績・株主還元

03 将来に向けた成長戦略

04 サステナビリティ

05 参考情報



©2008 NETUREN designed by MONDO DESIGN

会社概要

ネツレンは1946年、わが国で初めてIH(誘導加熱)技術の事業化・工業化に成功したパイオニア企業です。創業以来蓄積されたIH(誘導加熱)技術を中核とし、金属製品の製造と受託加工、装置販売の事業展開をしています。

商 号	高周波熱錬株式会社(ネツレン)
所 在 地	東京都品川区東五反田二丁目17番1号 オーバルコート大崎マークウエスト
設 立	1946年(昭和21年)5月15日(現社名)
資 本 金	64億18百万円
売 上 高 (2023年度)	連結:572億5百万円 単独:325億99百万円
従 業 員 数 (2024年9月末現在)	連結:1,624名 単独894名
金融商品取引所	東京証券取引所 プライム市場 証券コード:5976



代表取締役社長執行役員
大宮 克己

経営理念

熱処理技術を中核として、常に新商品・新事業の開発を進め社会の発展に貢献します。

世界をリードする技術力、高品質、高いお客様満足度、そして透明で公正な企業文化を背景に社会から信頼されるパートナーを目指します。

たゆまぬ自己変革に努め、常に成長することを目指します。

安全および健康を基本として、人を育て、活力ある企業グループを目指します。

地球環境との共生を基本として、企業の社会的責任を果たします。

事業内容

【製品事業部 関連事業】

高強度鋼材製品

自動車



建築



土木



IH
(誘導加熱)
技術

中空ラックバー(自動車)



旋回輪(建設機械)



一貫加工部品

インナーチューブ
(2輪車)



【IH事業部 関連事業】

自動車



熱処理受託加工

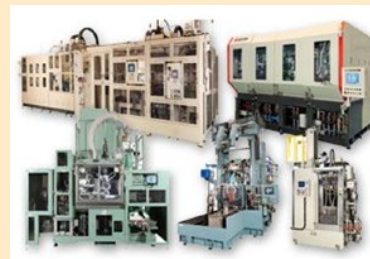
建設機械



産業・工作機械



高周波焼入設備



高周波電源



誘導加熱装置

【その他】

賃貸事業他

国内・海外ネットワーク

国内：9社 25拠点

海外：6カ国 15社16拠点

(米国、中国、チェコ、インドネシア、韓国、メキシコ)

(2024年9月末現在)

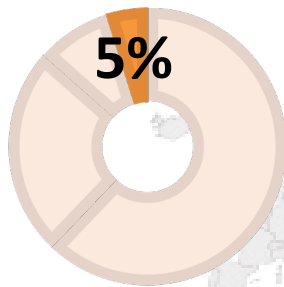
- ① いわき工場 ② 茨城工場 ③ 本社 ④ 人財育成センター
⑤ 湘南事業所・平塚工場 ⑥ 可児工場・可児NH工場 ⑦ 名古屋工場
⑧ 刈谷工場 ⑨ 製品事業部大阪営業所 ⑩ 尼崎工場 ⑪ 神戸工場
⑫ 赤穂工場 ⑬ 岡山工場



グローバル展開

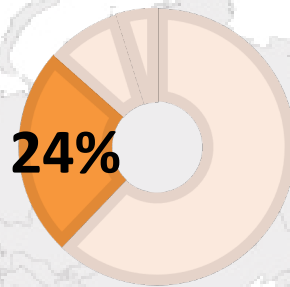
■ 6か国15社にて事業を展開、海外売上高比率は、3割強。

欧州



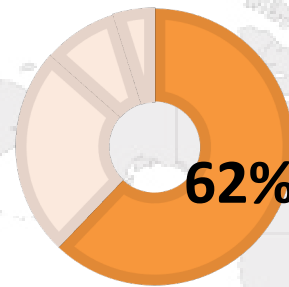
■自動車部品等
製造販売

中国
アジア



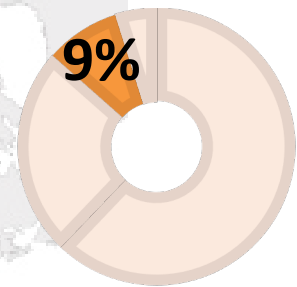
■自動車部品、
建設機械部品、
誘導加熱装置等
製造販売
■金属熱処理加工

日本



■土木・建築製品、
自動車・建設機械
部品等、製造販売
■金属熱処理受託加工
■誘導加熱装置等、
製造販売

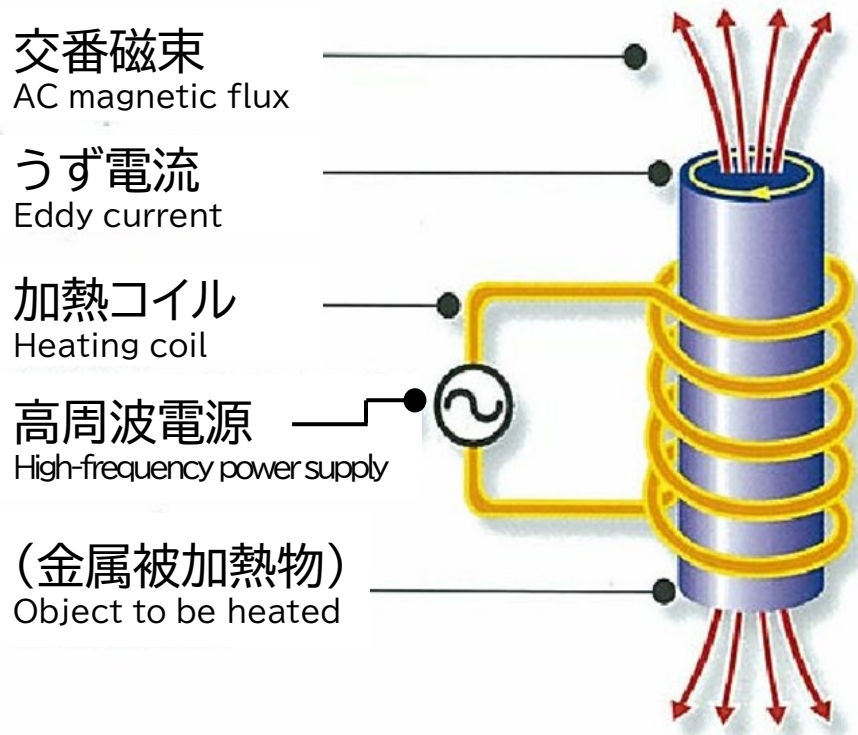
北・中米



■誘導加熱装置等
メンテナンス
■自動車部品等
製造販売
■金属熱処理加工

IH技術とは①

■ IH : Induction Heating(誘導加熱)とは金属を自己発熱させる技術



【原 理】

- ①加熱コイルに電流を流すと、その周りに磁力線が発生
- ②磁力線の影響を受け、(金属非加熱物)の中に“うず電流”が発生
- ③うず電流の運動エネルギーによって、ジュール熱が発生し金属が加熱

- ・ 炎加熱ではないため、燃焼によるCO2排出がゼロ
- ・ 非接触であり、金属の加熱したい部分を細かく調整可能



IH技術を使った熱処理とは①

■ 熱処理による金属部品の高強度化により小型軽量化・長寿命化を実現



自動車用歯車部品 切断面図

硬くなった部分

金属的性質(疲労強度・耐摩耗性)の向上

硬くしない部分

外部からの力を受け止めるしなやかさも求められるため、必要な部分以外は硬くならないようにする

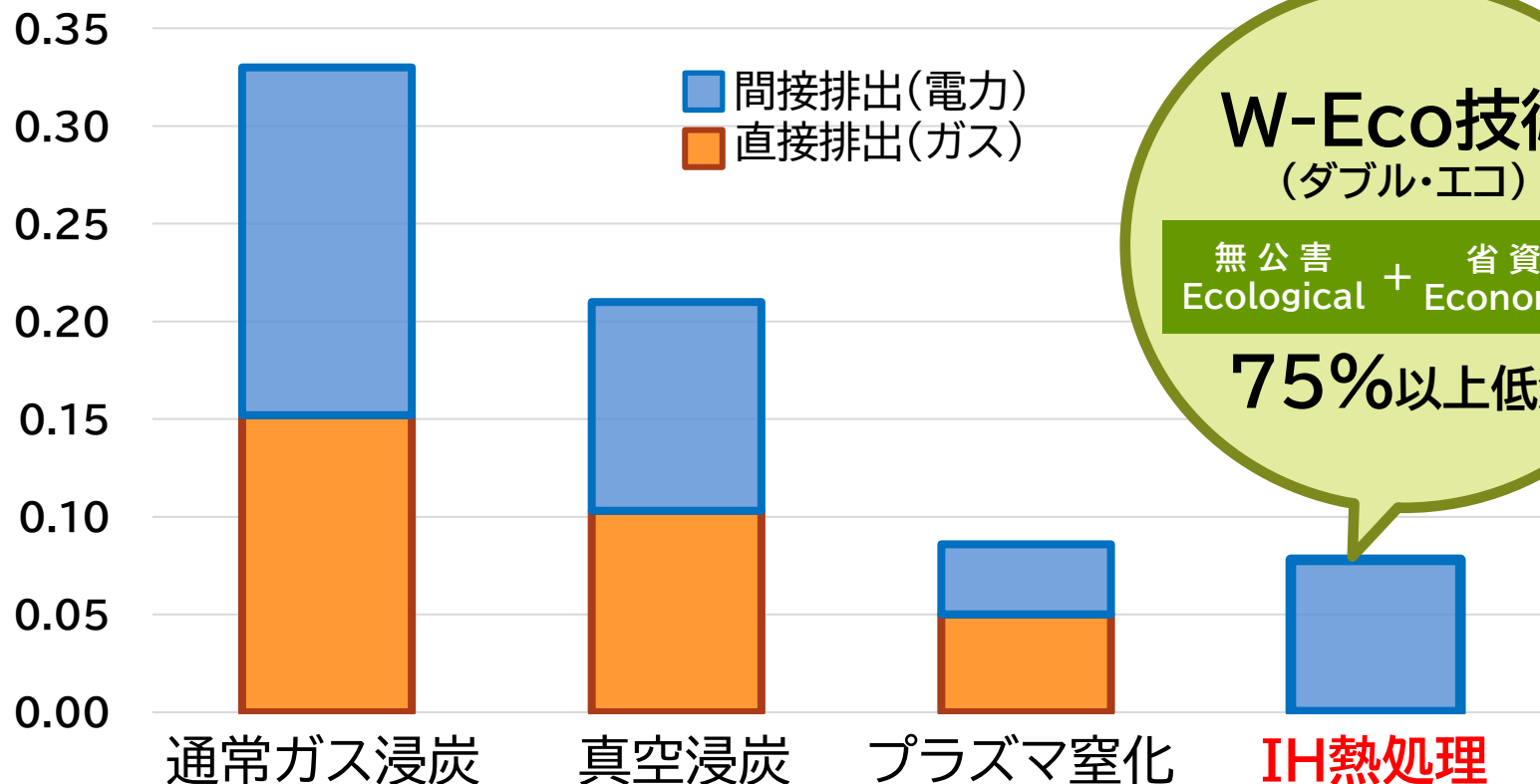
- ・金属をステーキのレア、ウェルダンのように加熱可能
- ・刀鍛冶が刀の焼入れ、焼戻しを行うように金属的性質が向上

IH技術を使った熱処理とは②

■ 他熱処理と比較した場合、ガスを使わないためCO²排出量削減に貢献

(単位:
kg-CO²/kg-work)

CO²(二酸化炭素)排出量



身近にあるネツレンのIH技術

■ ネツレンのIH技術は様々な産業に貢献しています

自動車業界

- ・ 高強度ばね鋼線(ITW®)
- ・ 中空ラックバー
- ・ 熱処理受託加工
- ・ 誘導加熱装置

土木・建築業界

- ・ PC鋼棒
- ・ 高強度せん断補強筋
- ・ ダブルスターク®
- ・ プレグラウトPC鋼棒

建設機械・工作機械業界

- ・ 旋回輪
- ・ 熱処理受託加工
- ・ 誘導加熱装置
- ・ 高精度プレハードン材等



事業領域の『沿革』

1940年

1960年

1980年

2000年

2020年

イノベーションで
新たな価値を
創造

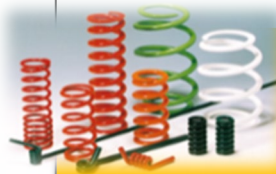
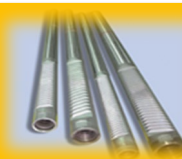
超付加価値製品の事業化

- ・ カットオフ工法(2019年)
- ・ ダブルスターク® (2018年)



高付加価値製品の事業化

- ・ 旋回輪(2008年)
- ・ 中空ラックバー(2007年)



高強度鋼材の事業拡大

- ・ 高強度せん断補強筋(1985年)
- ・ 高強度ばね鋼線ITW®(1983年)



高強度鋼材の事業化

- ・ ウルボン® (1964年)
- ・ PC鋼棒(1958年)



誘導加熱の事業化

- ・ 誘導加熱装置販売(1947年)
- ・ 熱処理受託加工(1946年)



事業内容①（自動車関連）

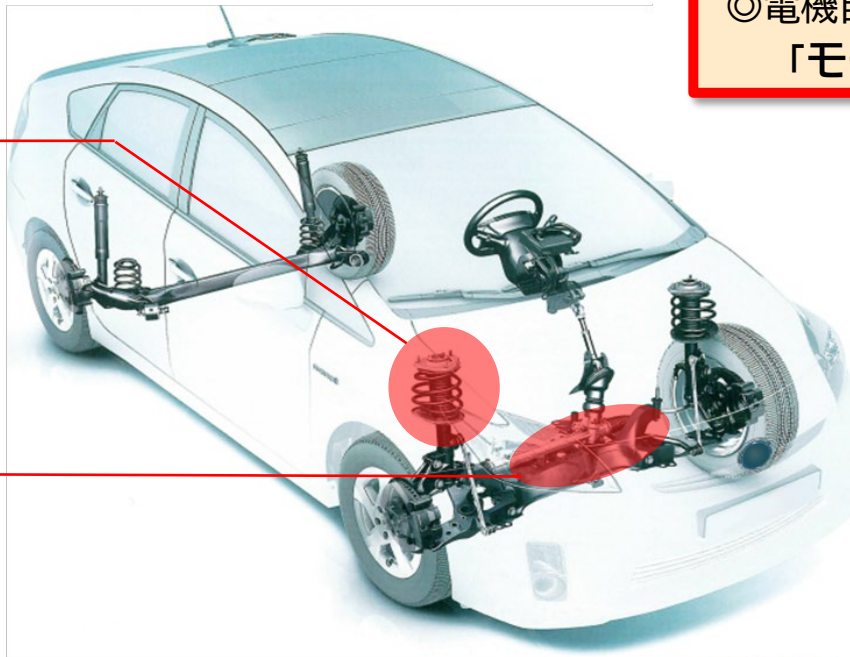
■ 高強度鋼材製品の製造



高強度ばね鋼線ITW®
(サスペンション用ばね)



中空ラックバー
(ステアリング部品)



【Point】 ここでも採用!!

◎電機自動車(EV)の普及とともに、
「モーターシャフト」にも採用

■ 誘導加熱装置の製造



【対応部品】

- ・足回り関連部品
- ・トランスミッション関連部品
- ・ステアリング関連部品
- ・エンジン関連部品
- ・その他部品

■ 各種部品の熱処理受託加工



【足回り】

- ・ドライブシャフト
- ・等速ジョイント部品
- ・リアアクスルシャフト
- ・その他部品



【トランスミッション】

- ・ハイブリッドシステム部品
- ・インプット・アウトプットシャフト
- ・その他部品

事業内容②（土木・建築関連）

■ 高強度鋼材製品の製造



高強度せん断
補強筋



杭用異形PC鋼棒

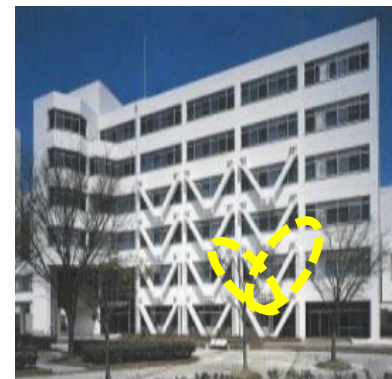


基礎杭

超高層RC造
建築物に採用



PC鋼棒



倉庫等の
耐震補強に採用

【Point】 ここでも採用!!

◎2024年 晴海フラッグ

◎2023年 麻布台ヒルズ

事業内容③（土木・建築関連）

■ 高強度鋼材製品の製造



異形PC鋼棒



基礎杭



電柱



PC鋼棒



新幹線・在来線用
コンクリート枕木



地下共同溝



タンク

【Point】

- ◎2025年（採用決定） 北海道・半導体工場
- ◎2023年 熊本・半導体工場
- ◎新東名高速道路・河内川橋工事※
- ◎新幹線・軌道スラブ、コンクリートまくらぎ

※【導入事例】

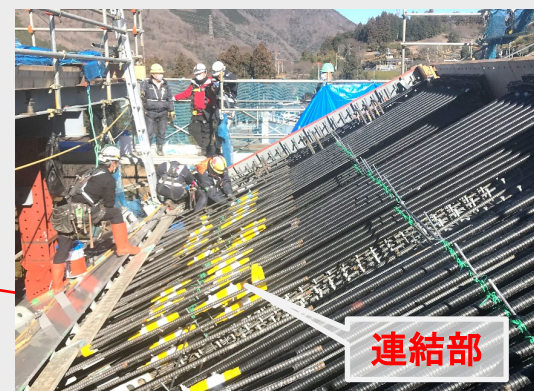
新東名高速道路 河内川橋

（2021年～ 5,000本納入中）

アーチリブを支える主緊張材に
当社製品プレグラウトPC鋼棒
（φ40mm）を使用



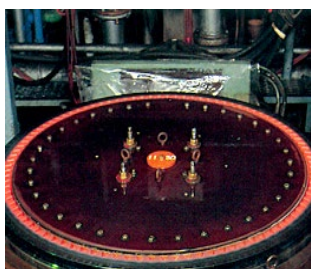
完成予想図



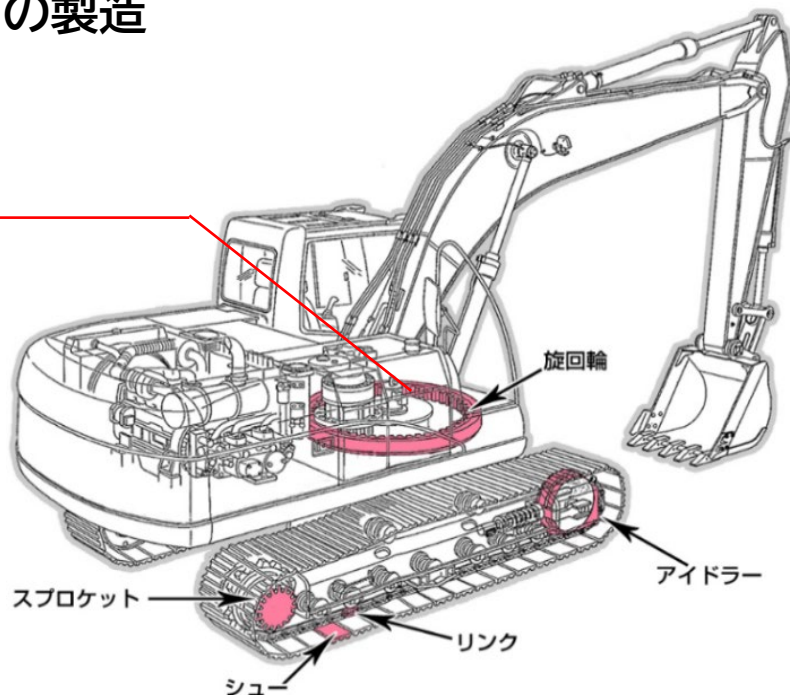
連結部

事業内容④（建設機械関連）

■ 高強度鋼材製品の製造



旋回輪



■ 誘導加熱装置の製造



■ 各種部品の熱処理受託加工



事業内容⑤（産業機械・大型特殊品関連）

■ 各種大型部品の熱処理受託加工

製紙機械用大型ヒートロール中空
(直径1,350mm、全長9,000mm、重量50t)



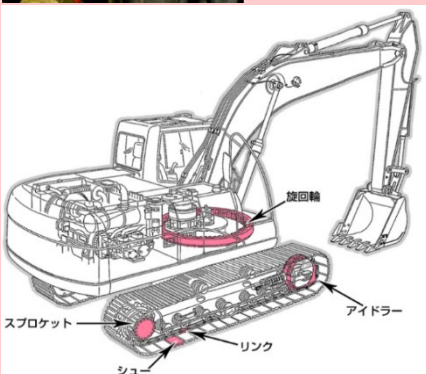
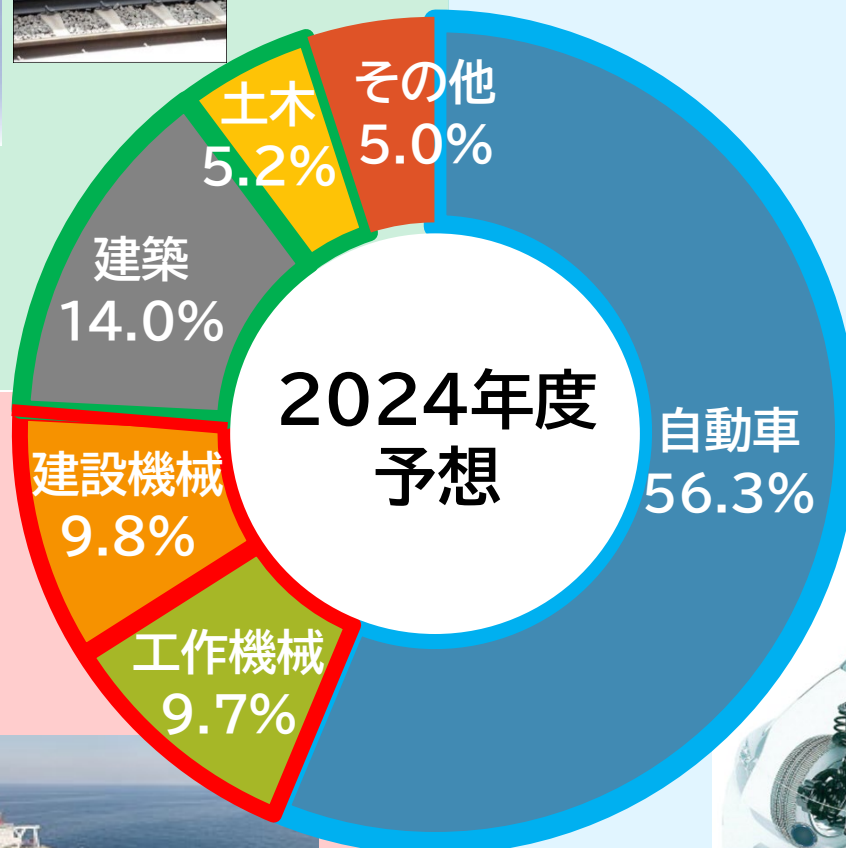
トンネルマシン用歯車付旋回ベアリング(外径8,000mm)



船舶エンジン用クランク軸 (全長 約3,900mm)
産業機械用歯車付シャフト (全長 約2,200mm)



業界別「売上高」比率



※2024年9月末時点

製品別 市場シェア

■ 多数の国内シェアトップ製品が安定した成長の源泉

熱処理受託加工



熱処理受託加工業界
トップの受託加工能力
確保

冷間成形用ばね鋼線 ITW®



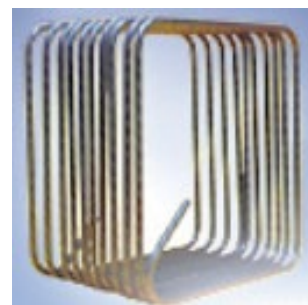
冷間成形用で世界初の
材料強度を実現し、
グローバルに展開

PC鋼棒・ 異形PC鋼棒



東海道新幹線
(1964年開通)用
PC枕木からスタート

高強度 せん断補強筋



大臣認定(1985年)
取得後、耐震ニーズ増加
対応

誘導加熱装置



顧客需要に合わせた
高性能装置をオーダー
メイド製作



※2023年度末数値より、当社調べ

目次

01 グループ事業概要

02 業績・株主還元

03 将来に向けた成長戦略

04 サステナビリティ

05 参考情報



©2008 NETUREN designed by MONDO DESIGN

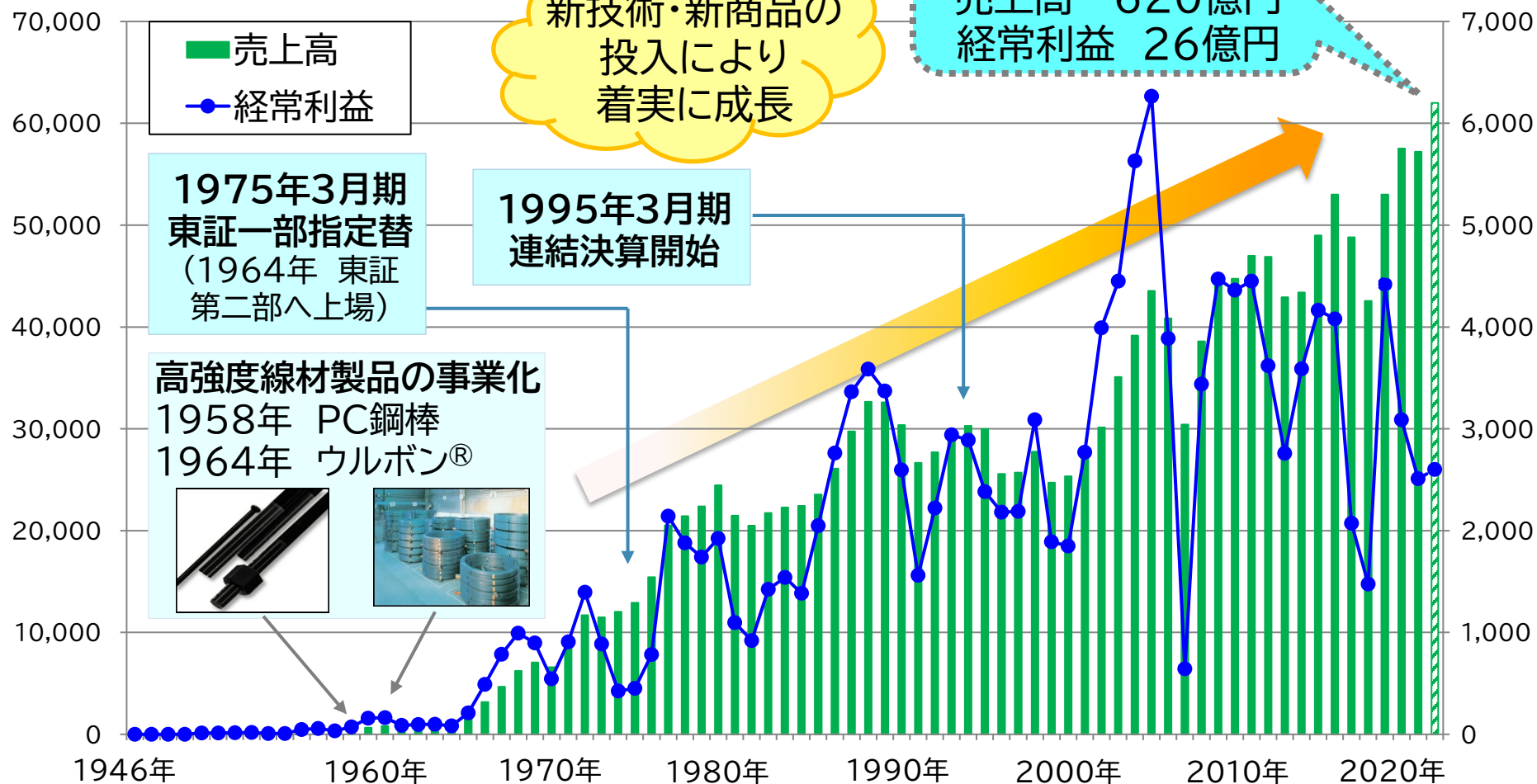
連結売上高・経常利益の推移

売上高
(単位:百万円)

2025年3月期(予想)

売上高 620億円
経常利益 26億円

経常利益
(単位:百万円)



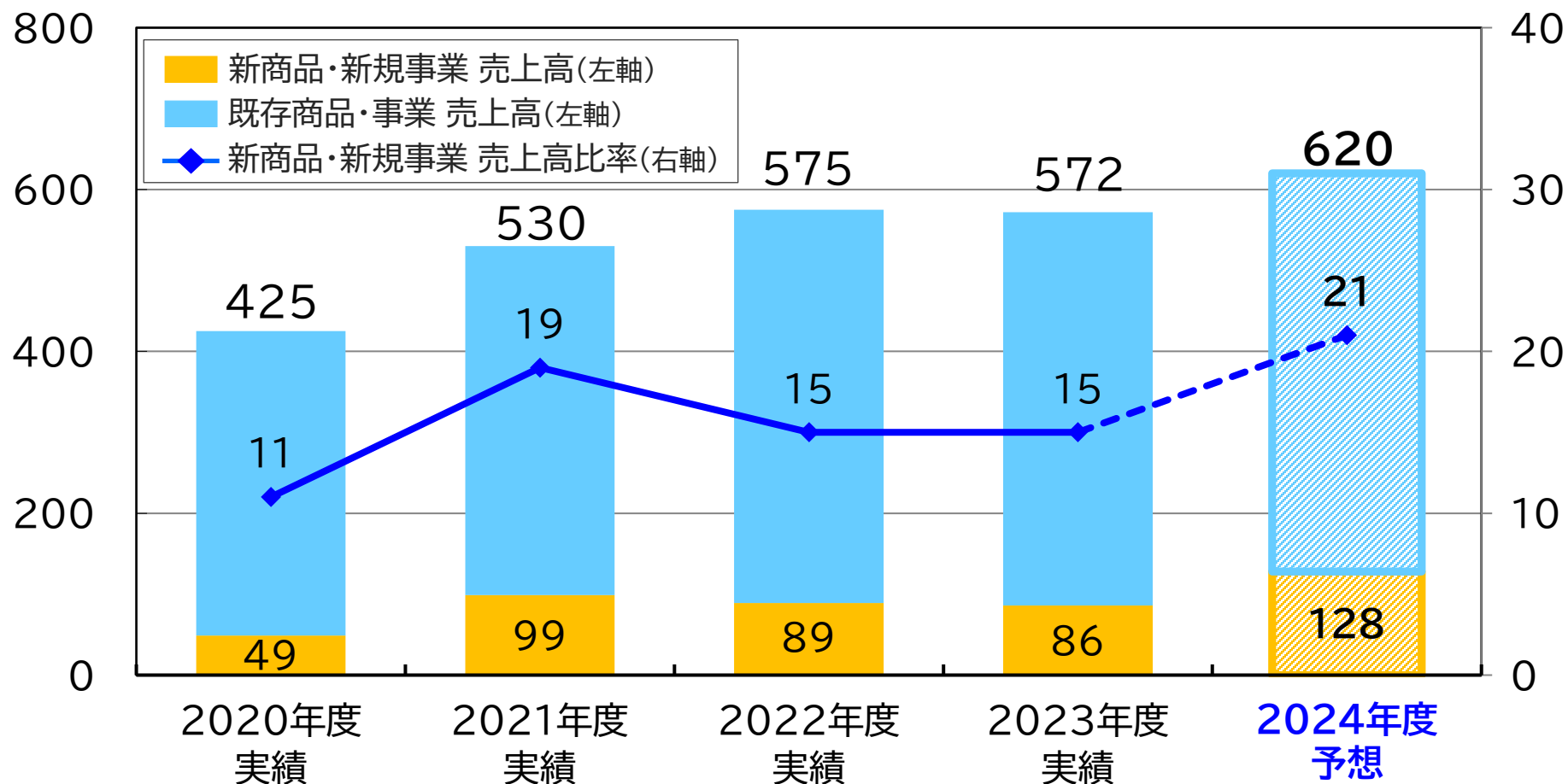
※1995年3月期以降は連結分を含めた数字となります。

新商品・新規事業の売上高推移

- 逆T字モデルの概念である部門間連携を推進し、成長の基礎となる、新商品の投入・新規事業の創生を進めます

(単位:億円)

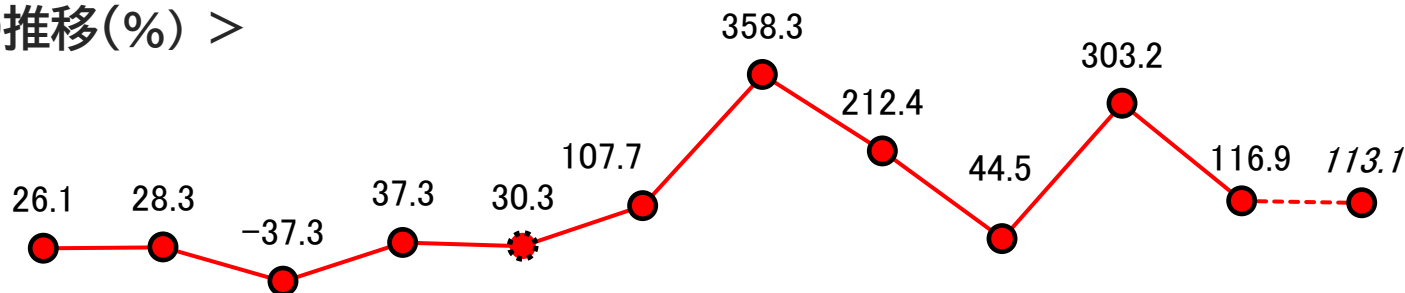
(単位:%)



配当の推移

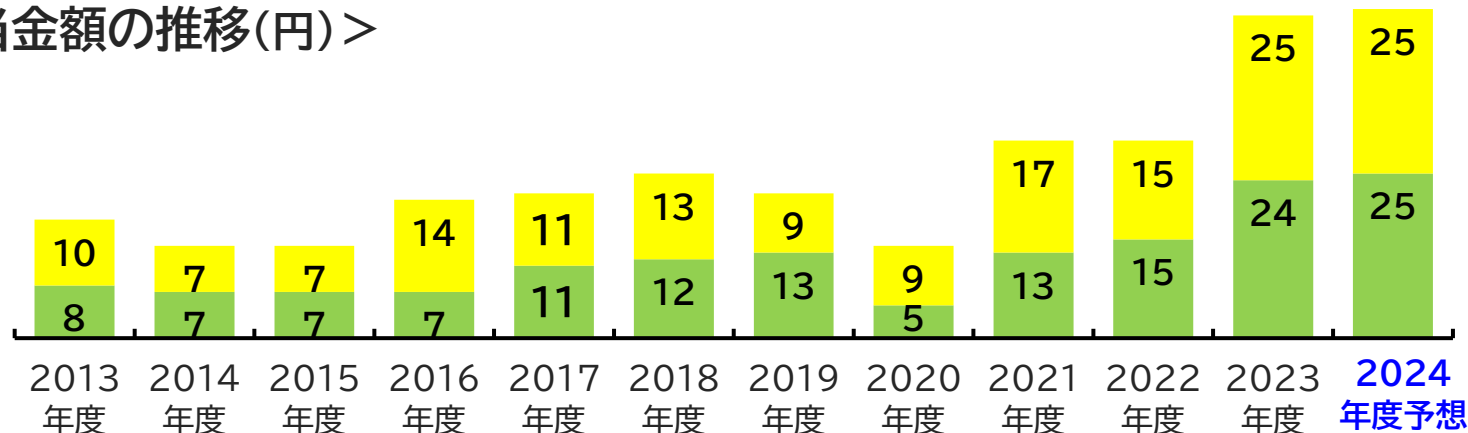
- 安定した配当：自己資本配当率(DOE) 3.0%以上
2023年度中間配当より、“自己資本配当率(DOE)1.5%を下限” から変更

<連結配当性向の推移(%)>



<1株当たり配当金額の推移(円)>

- 期末配当
- 中間配当



【配当政策】	年10円を下限 連結配当性向 25%以上	年10円を下限 連結配当性向 30%以上	年10円を下限 連結配当性向 40%以上	DOE1.5%を 下限 連結配当性向 40%以上	DOE 3.0% 以上

株主還元

- 当社株式の魅力を高め、中長期にわたりご保有いただくことを目的として、株主優待制度を実施

【優待内容】

当社オリジナルQUOカード
(1,000円分)



当社マスコットキャラクター「レンガル」

【対象株主】

- ・毎年3月31日時点の株主名簿に記録
- ・100株(1単位)以上
- ・1年以上継続保有

【協賛募金制度】

<寄付先>

公益社団法人
国土緑化推進機構「緑の募金」



<寄付額>

株主様1名につき、当社より100円寄付

緑の募金



感謝状が授与されました！

2023年12月8日、林野庁より
「林野庁長官感謝状」が授与されました。



林野庁長官 青山豊久氏(写真左) 当社代表 大宮克己(同右)

自己株式の取得/消却

■ 経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を目的に、
自己株式の取得・消却を実施

<自己株式の取得>

No.	取得年度※1	取得株数	取得割合 (対 発行済株式数)	取得金額
1	2022年度	2,227,800株	5.45%	1,499百万円
2	2023年度	1,539,800株	3.98%	1,499百万円
3	2024年度※2	1,948,500株	5.24%	2,000百万円

※1 直近3ヶ年を抜粋 ※2 取得期間：2024年5月～2025年1月

<自己株式の消却>

No.	消却日※3	消却株数	消却割合 (対 発行済株式数)
1	2022年 3月	2,884,000株	6.59%
2	2023年 2月	2,227,800株	5.45%
3	2024年 2月	1,539,800株	3.98%

※3 直近3ヶ年を抜粋

<その他>

発行済株式総数自(自己株式除く)	37,138,900株	
自己株式数(見込み)	3,885,022株	(2025年1月末時点)

2024年度から
2026年度までに
合計60億円程度を
取得計画

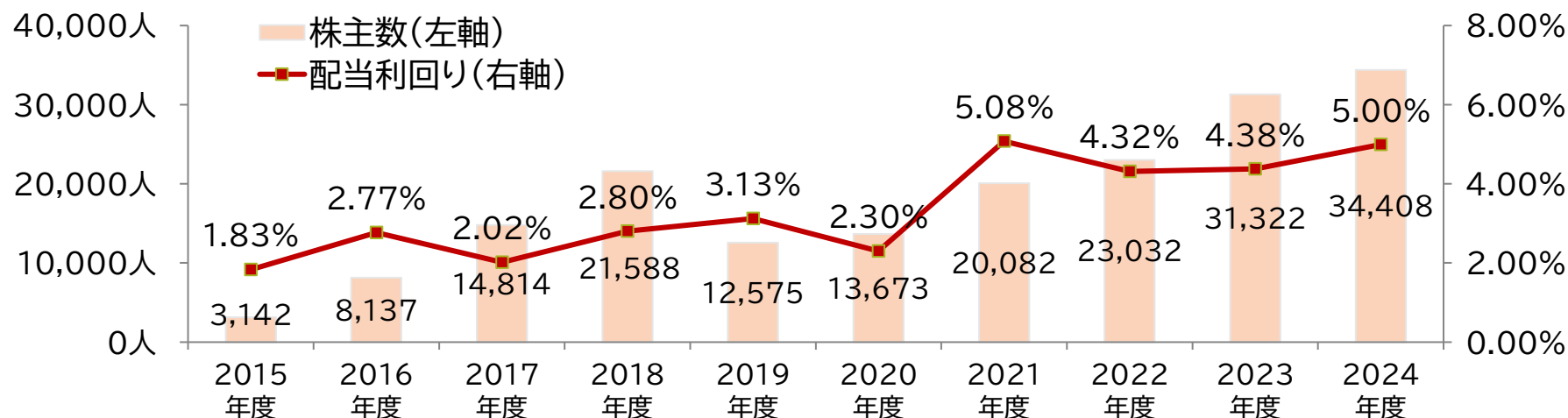
株価推移

■ 株価等推移(事業年度別)

年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度※2
高値平均(円)	934	871	1,151	1,053	924	572	632	690	1,021	1,072
安値平均(円)	808	770	1,038	916	788	485	562	634	919	989
配当利回り(%)※1	1.83	2.77	2.02	2.80	3.13	2.30	5.08	4.32	4.38	5.00

※1 配当利回りは、各年度末の終値にて計算 ※2 2025年1月末まで

■ 株主数と配当利回りの推移(2015年度～2024年度中間)



(注)2024年度は、9月末株主数と1月末終値を使用。配当利回りは各年度末の終値にて計算。

目次

01 グループ事業概要

02 業績・株主還元

03 将来に向けた成長戦略

04 サステナビリティ

05 参考情報



©2008 NETUREN designed by MONDO DESIGN

NETUREN VISION 2030



※ 長期経営ビジョン「NETUREN VISION 2030」策定時のCO₂削減目標。

第16次中期経営計画①

- ・スローガン：**Aggressive Challenge One NETUREN 2026**
- ・趣旨：成長・進化・躍進へ グループの総智を**繋げ** 積極果敢に挑戦しよう

企業価値向上

4つの戦略	●技術開発 成長ドライバーの創生 ・逆T字モデルを活用し、グループ間の力を 繋げて 、新たな事業・新たな製品・新たな技術を創生	資本コスト経営	●事業ポートフォリオ
	●事業 成長エンジンの育成 ・現場力に新しい技術を 繋げて 、お客様に満足いただける製品・サービス・技術を提供		●ROICの本格導入・展開
	●グローバル グローバルマーケットの拡大 ・情報ネットワークを 繋げて 、未開拓地域も含めグローバル市場を拡大		●キャピタルアロケーション
	●人財 自発的貢献意欲のある人財の育成 ・人財育成を進め、各々の活躍をネツレングループ全体に 繋げて 、企業成長を加速		●資本政策・財務戦略

2026年度 中計目標	売上高	営業利益	営業利益率	ROE	ROA	ROIC
	700億円	46億円	6.5%	6.5%以上	5.5%以上	5.5%以上

第16次中期経営計画②/成長ドライバーの創生

【技術開発】成長ドライバーの創生

●「逆T字モデル」を活用し、現在開発中の新商品・新技術を早期市場投入

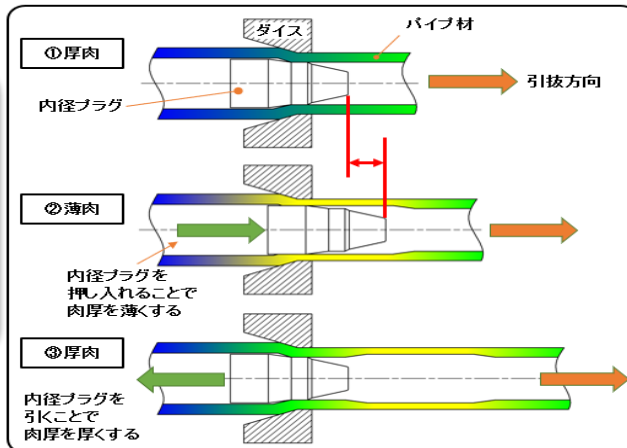
■ネツレンバデットの実現

開発中
例

- ・パイプ材引抜加工時に肉厚を変化させる
特殊な工法（バテッド:butted,butt(太い端)が語源)
- ・内径プラグ動作タイミングで厚肉⇄薄肉は自由自在

・引抜加工したパイプ材をネツレン独自の
IH熱処理で、**高強度と軽量化**を両立

段差がついた
内径プラグを
押す→薄肉
引く→厚肉

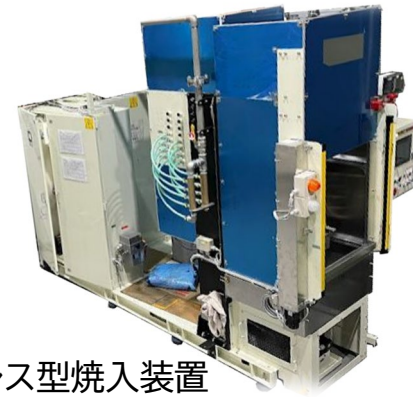


■完全エアレスの焼入設備機器

納入
実績例

- ・電機部名古屋工場の初納品製品
- ・従来のエア稼働から電動稼働に変更し対応
(変更箇所)正面扉・払い出し部・上センター部

- ・コンプレッサーの稼働台数削減
- ・エア漏れによる「無駄」を削減
- ・ランニングコストの低減やCO2 削減に貢献



エアレス型焼入装置

第16次中期経営計画②/成長エンジンの育成

【事業】成長エンジンの育成

■『北海道新幹線』構造物へのPC鋼棒等の拡販活動



JR北海道商品化許諾済

《採用箇所》

【高強度せん断補強筋】

RCラーメン構造の高架橋柱部分
⇒ 全18工区中、8工区で採用決定

【PC鋼棒】

レールを支えるスラブ軌道板 ⇒ 今夏納品予定

■工場再編プロジェクト『REBORN刈谷』始動

《目的》

生産性向上

製品別に
設備を集約、
工場内を整流化

生産能力増強

設備の集約・
自動化等により
ストレスフリーな
工場を目指す

収益性向上

受注変動に対応した
収益確保が出来る
生産体制へ強化



刈谷工場

新規熱処理設備(自動車用足回り部品)導入により、
2025年10月に生産能力1.2倍へ増強※

※2024年7月5日付「設備投資のお知らせ」にて開示



CVJ焼入焼戻装置
(当社同様使用設備)

第16次中期経営計画③/グローバルマーケットの拡大

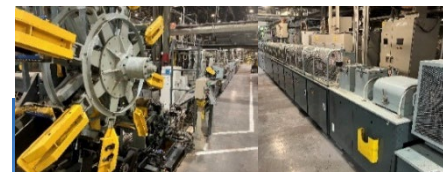
【グローバル】グローバルマーケットの拡大

■ネツレン・アメリカ※ 『工場増設・ITW®製造能力増強』

※ Neturen America Corporation

《工場概要》

所在地 : アメリカ合衆国オハイオ州ハミルトン
工場建屋増築面積 : 約2,600m²
製造ライン増設 : 引抜1ライン 熱処理1ライン
太径サイズ対応 : 直径17mm以上の線径にも対応可能



投資額:約10億円

- ・ 2024年8月増設ラインのOEM承認完了 ⇒ 同年10月、フル生産体制整備

■ネツレン・インドネシア※ 『工場増設・生産能力増強』

※ PT. NETUREN INDONESIA

《工場概要》

所在地 : インドネシア共和国西ジャワ州ブカシ県
工場建屋増築面積 : 約3,600m²
工場完成予定 : 2025年3月



投資額:約9億円

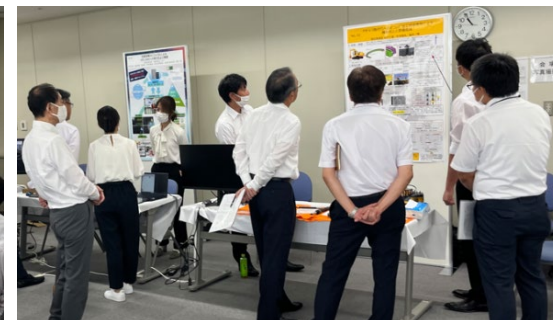
- ・ 2024年8月工場増築の地鎮祭実施、工事着手

第16次中期経営計画③/自発的貢献意欲のある人財の育成

【人財】自発的貢献意欲のある人財の育成

■全社技術報告会

- ・研究開発本部と製品技術本部によるポスターセッション
- ・ネツレンとして初のポスター発表形式で、各事業部やグループ会社から発表



■九州大学&ネツレン 技術交流会

- ・本交流会は、2006年10月から継続的に開催
- ・最先端の研究成果や当社が抱える技術的課題を議論



第16次中期経営計画④ 資本コスト経営

< ROICの本格導入・展開ステップ>

ROIC: 投下資本利益率

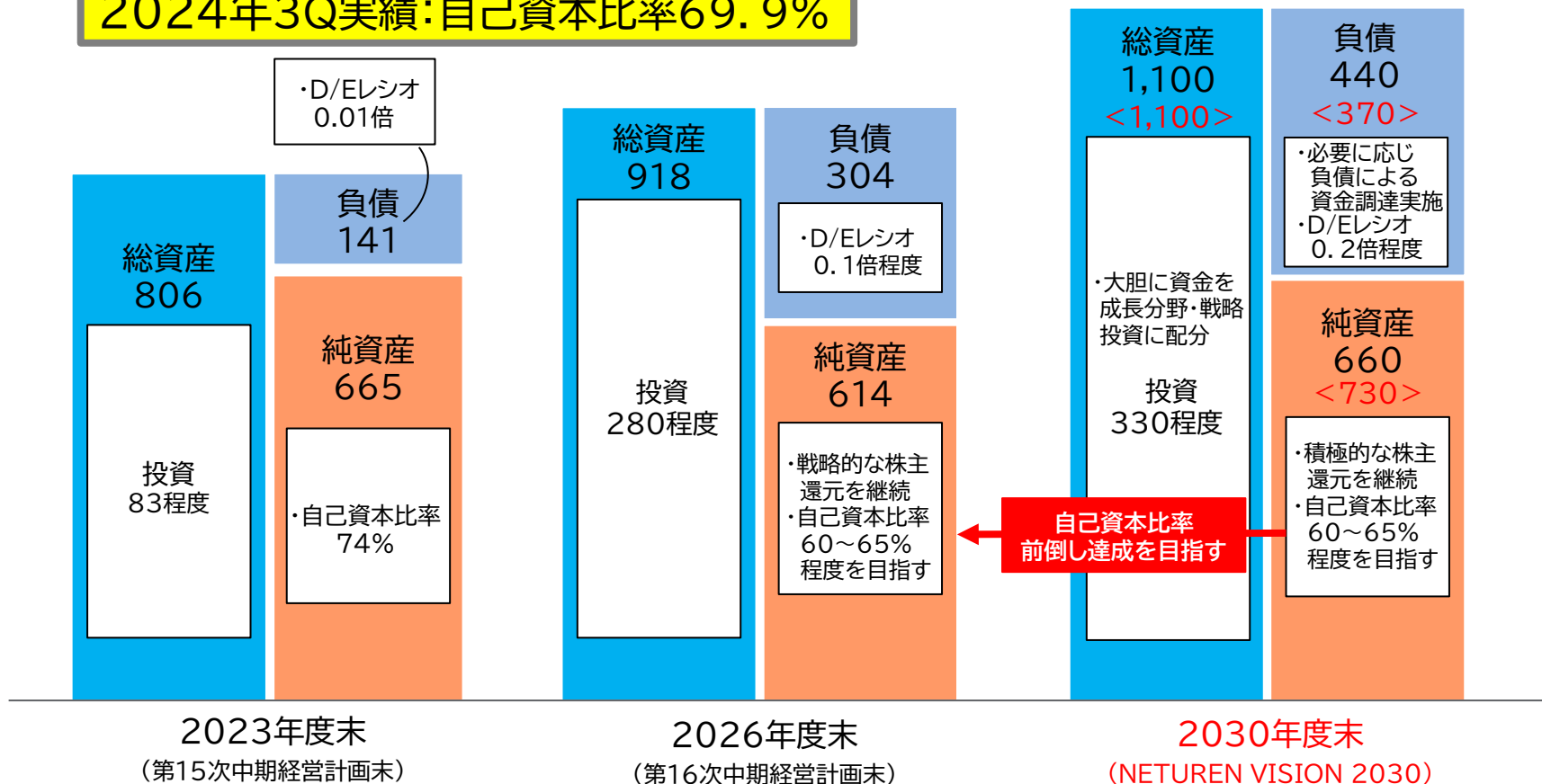


第16次中期経営計画⑤ 目指すべきバランスシート

- ✓ 財務の健全性および資本効率のバランスに配慮し、純資産・自己資本をコントロールしながら目指すべきバランスシートを実現する。
- ✓ 自己資本比率は、当初計画より前倒し達成を目指す。

2024年3Q実績:自己資本比率69.9%

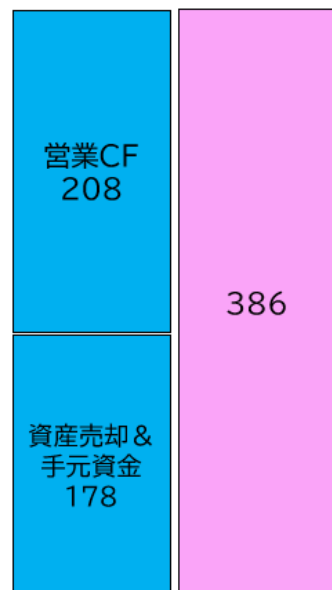
※< >:当初計画 (単位:億円)



第16次中期経営計画⑥ キャピタルアロケーション

●第16次中期経営計画

キャッシュイン
営業CF+借入+資産売却&手元資金



※資産売却には、政策保有株式売却を含む
※必要に応じ負債による調達(デッド)も活用

計画通り遂行中

※ネツレン アメリカ(約10億円)は
第15次中期経営計画期間の投資

キャッシュアウト
定常投資 戦略投資

増産、省人化・合理化、工場
耐震補強・設備修繕

研究開発、新商品、DX、
環境・省エネ・CO2削減、
M&A

・増産、省人化・合理化を目的
とした各種生産設備投資
・安全衛生関連投資
・研究設備投資
・耐震補強工事
・設備修繕

120

第15次中期経営計画期間
(2021-2023)
より約3.4倍の投資計画

<REBORN刈谷>
約15億円の計画
(3年間)

160

・M&A投資
・研究開発投資
・事業拡大と生産体制強化に向けた
グループ・拠点の大型投資
・自動化推進に向けた生産設備投資
・DX/ICT化投資
・CO2 排出量削減関連投資
・人的資本投資

<グローバル強化>
インドネシア(約9億円)
各工場増設へ投資

<配当>
中間:9億円実施(25円/株)
期末:9億円予定

(単位:億円)

株主還元

配当
46以上
自己株式取得
60程度

<自己株式取得>
20億円実施

※配当は、DOE3.0%

<CO2削減>
太陽光発電投資
約3億円の計画

目次

01 グループ事業概要

02 業績・株主還元

03 将来に向けた成長戦略

04 サステナビリティ

05 参考情報



©2008 NETUREN designed by MONDO DESIGN

基本方針と推進体制

<基本方針>

当社グループは、「ネツレングループサステナビリティ基本方針」を制定し、長期経営ビジョン「NETUREN VISION 2030」のもと、SDGsを経営の中心に据えて事業を行っております。

ネツレングループサステナビリティ基本方針

1. 地球環境との共生
2. 持続可能な社会づくりに貢献
3. 社会的な使命の認識
4. 信頼されるパートナーを目指す
5. ステークホルダーとの連携
6. 活力ある企業グループを目指す

<推進体制>

全社サステナビリティ推進委員会

委員長	社長執行役員
副委員長	経営企画室長
委員	取締役・監査役(社外含む)、執行役員、内部統制統括室長、内部監査室長、情報戦略室長、安全衛生・環境対策室長、N-DX推進室長、各事業部長、各本部長、管理部長
オブザーバー	その他委員長の指名により、関係者を随時招集

《事務局》
経営企画室

事業部

本部

国内
グループ会社

海外
グループ会社

企業価値向上と主な取り組み(社会活動)

<環境・教育・文化関連>

・地域社会のスポーツ振興

【いわきFCへの協賛】



・協賛募金制度

【国土緑化推進機構「緑の募金」】



・紛争災害地域への医療等支援

【日本赤十字社へ
目録贈呈】



<地域活動> 企業版ふるさと納税

①岡山県総社市
(岡山工場)



②岐阜県可児市
(可児・可児NH工場)



③岐阜県関ヶ原町
(岐阜工場※)



④新潟県阿賀野市
(新潟工場※)



⑤福島県いわき市
(いわき工場)



⑥兵庫県赤穂市
(赤穂工場)



⑦兵庫県神戸市
(神戸工場)

※ 株式会社ネツレン・ヒートリート

<表彰>

安全衛生に係る
厚生労働大臣表彰
受賞(いわき工場)



<学術・研究関連>

日本熱処理技術協会より受賞
(2022年5月)

①技術功労賞林賞②技術精励賞

企業価値向上と主な取り組み(新聞等への露出)

<情報発信の内容>

※ 別紙ご参照ください

媒体名	掲載月	記事内容
ラジオ NIKKEI 第1	2023年4月	経営トップに聞く！強みと人材戦略」出演
日経トップリーダー※	2025年2月	ネツレン 日本初IH技術を事業化 技術力で業界をリード
日刊工業新聞	2024年5月	戦略投資160億円 熱処理事業補完でM&A 車・機械向け 高付加価値化
	2024年6月	経営ひと言 ネツレン・大宮克己社長「メキシコ開拓」
	2024年7月	熱処理増強 愛知・刈谷、1.2倍 5億円で新設備
	2025年2月7日	ネツレンタクト、水で表面剥離・洗浄装置 キャリアフィルム再生
	2025年2月21日	IH焼き入れ電動装置 「チョコ停」回避
産業新聞	2024年7月	焼入装置導入 25年、刈谷工場の生産増強
	2024年8月	安全衛生で厚労相表彰奨励賞
鉄鋼新聞	2024年3月	「2024トップインタビュー」、「機関投資家向け湘南事業所見学会開催」
	2024年5月	新中期経営計画にて280億円投資
	2024年5月	「高強度ばね用鋼線「ITW」」、「24年度設備投資」
	2024年5月	24年度設備投資は59億円 刈谷地区工場再編に着手
	2024年7月	刈谷工場再編に着手
	2024年9・10月	「海外救援金100万円寄付」、「統合報告書を発行」
	2024年11月	「新商品売上高比率向上 国内外で積極投資」、「ネツレンバテッド工法開発」
NNN ASIA(WEB)	2024年12月	インドネシアでの増設工場完成
その他		・テレビ東京「知られざるガリバーエクセレントカンパニーファイル」(2022年) ・週刊現代「今のあなたにピッタリのベスト投資術」(2025年2月1-8日号)

NETUREN VISION 2030(ポスター)

NETUREN VISION 2030
「進化と躍進」
2021.4～2031.3

あるべき姿
企業価値を高め続けるとともに
持続可能な社会づくりに貢献する

目指す姿
CO2排出削減に有効なIH熱処理技術を核とする技術・
製品を通じ、企業価値を高めて環境負荷を低減する
N-DXの展開を進め、グループ全員の力を結集して
進化を続け、グローバルに躍進する

第16次中期経営計画 スローガン 2024.4～2027.3[3年間]
**Aggressive Challenge
One NETUREN 2026**

企業価値向上

技術開発
成長ドライバーの創生

事業
成長エンジンの育成

グローバル
グローバルマーケットの
拡大

人財
自発的貢献意欲の
ある人財の育成

資本コスト経営

NETUREN

第16次
中期経営計画



目次

01 グループ事業概要

02 業績・株主還元

03 将来に向けた成長戦略

04 サステナビリティ

05 参考情報

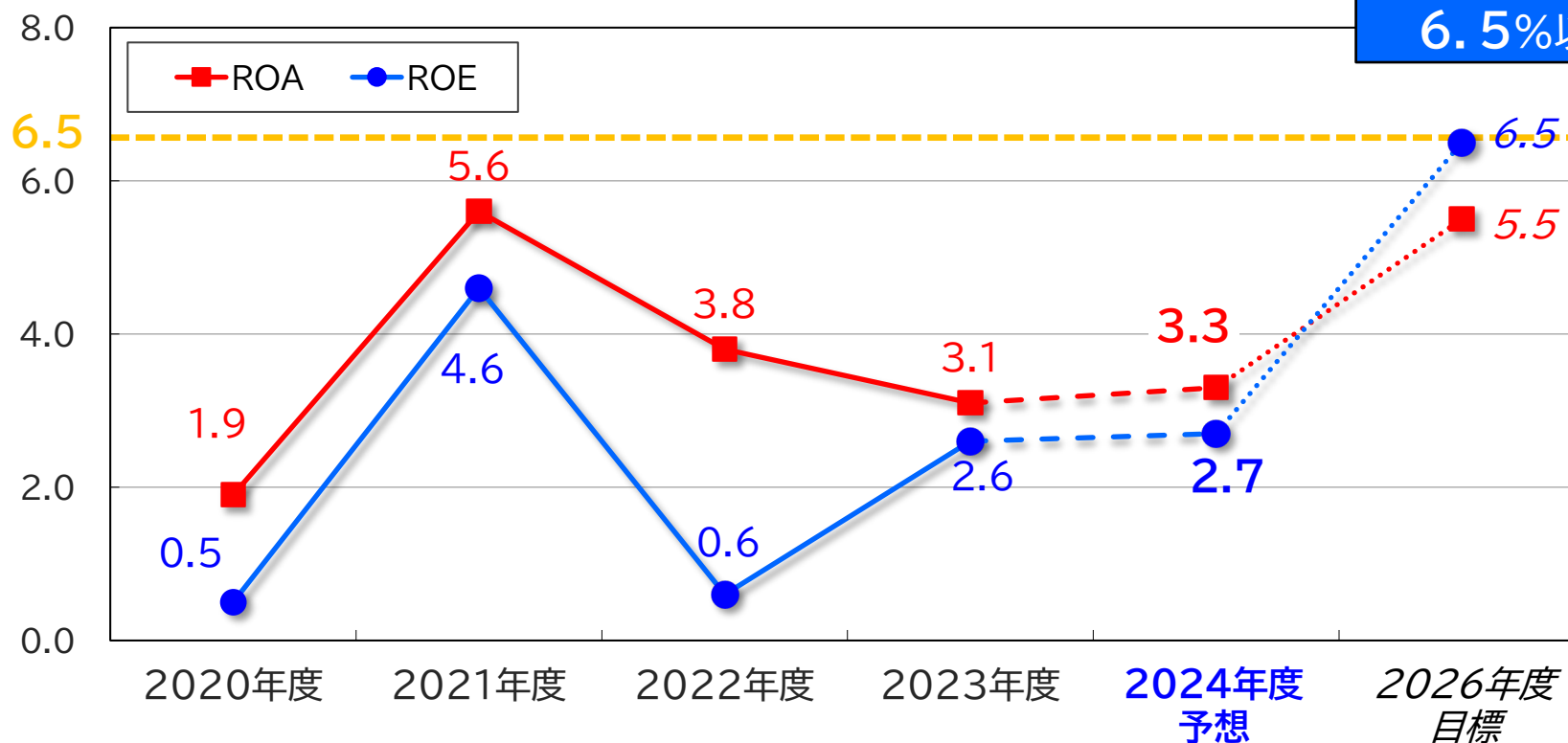


©2008 NETUREN designed by MONDO DESIGN

ROE・ROAの推移

2024年度は、〈ROE 2.7%〉、〈ROA 3.3%〉を見込む

(単位:%)



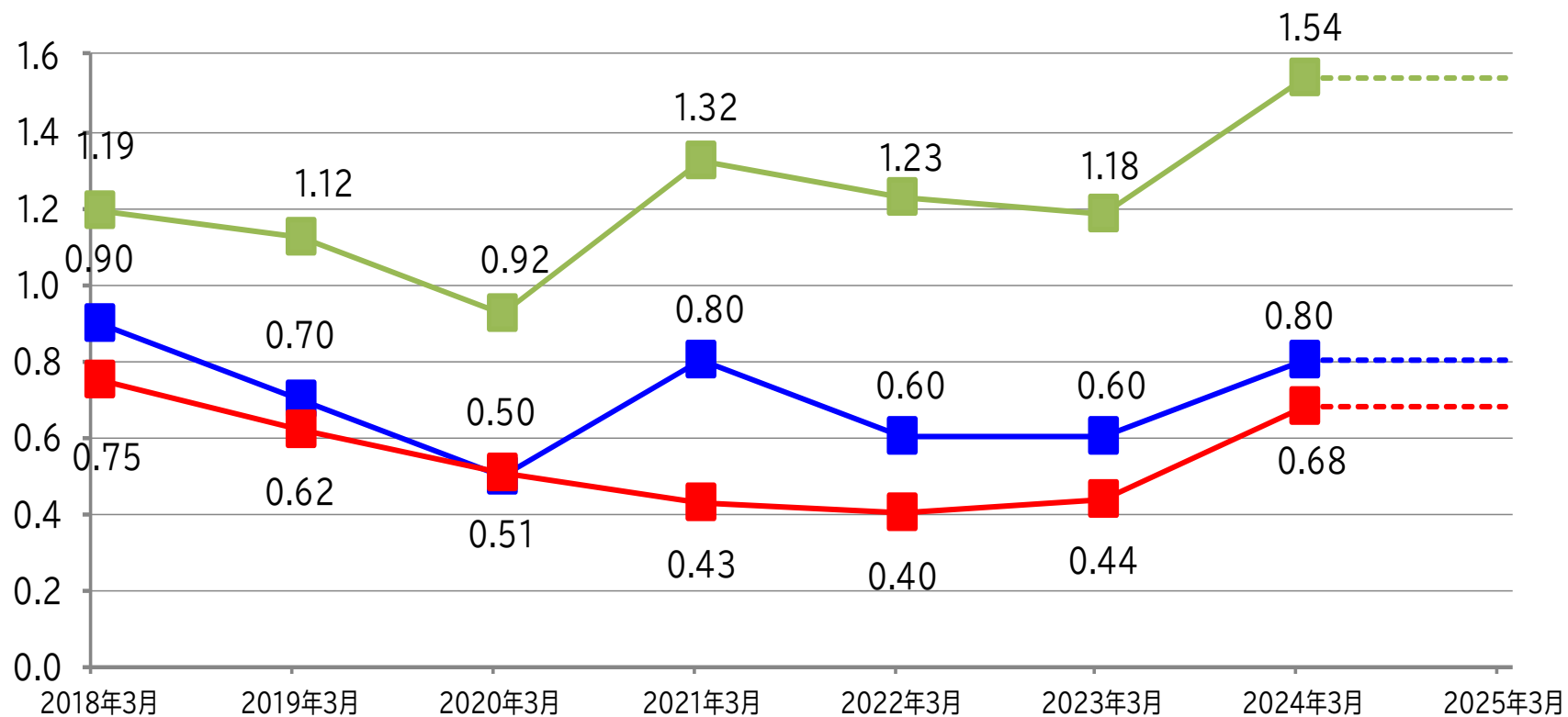
第14次
中期経営計画

第15次
中期経営計画

第16次
中期経営計画

PBR推移

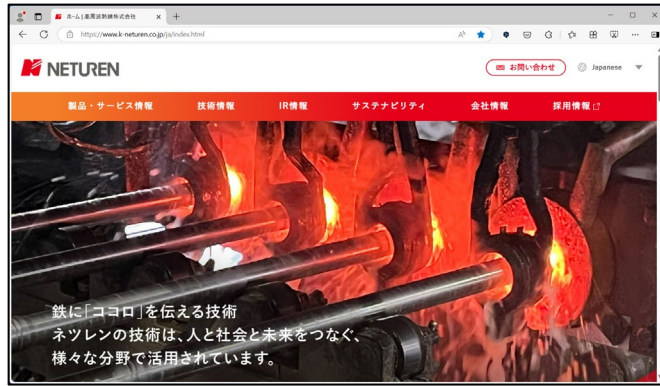
(単位:倍)



ネツレングループに関する情報について

コーポレートサイト

(<https://www.k-neturen.co.jp/>)

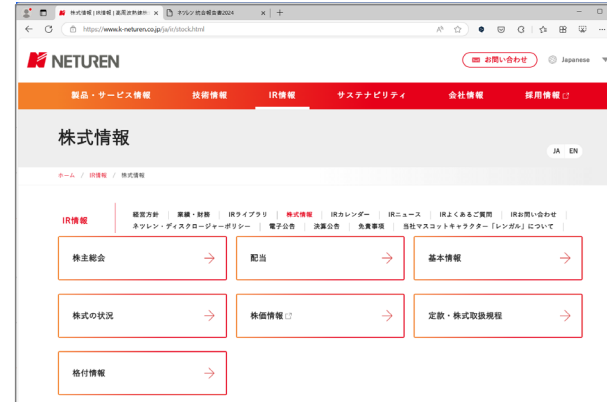


トップページ



株式情報

(<https://www.k-neturen.co.jp/ja/ir/stock.html>)

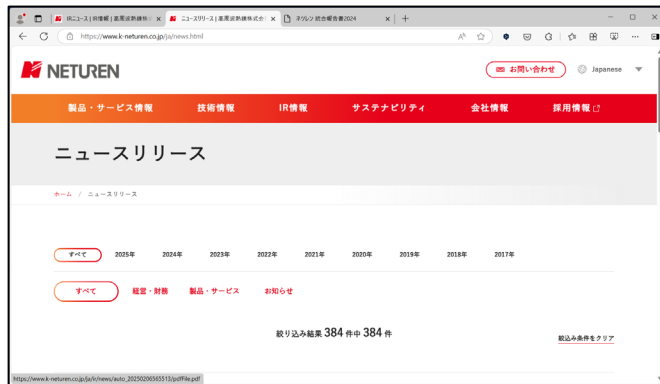


株式情報



ニュースリリース/IRニュース

(<https://www.k-neturen.co.jp/ja/news.html>)



ニュースリリース



統合報告書

(<https://www.k-neturen.co.jp/ja/sustainability/report.html>)



統合報告書
2024





WEBサイト



統合報告書



(注)当資料に記載の将来に関する予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予想数値と異なる場合があります。